

# 第33回秋田県公立小中学校事務研究大会



令和5年10月27日(金)  
於 秋田キャッスルホテル

『実践と協働を通し、子どもの豊かな育ちを支援する学校事務』  
～新しい時代の学びを主体的にマネジメントする  
学校事務職員を目指して～

第1号

第33回秋田県公立小中学校事務研究大会  
実行委員長 猪岡 延泰

本日は秋田県教育委員会教育長様をはじめ、教育庁関係各課及び市町村教育委員会、教育関係団体の皆様のご参列をいただきまして、心より御礼申し上げます。

また、北海道、青森岩手各県から参加いただいた事務職員の皆様、ようこそ秋田県へお越しくださいました！今日は他県の状況やご意見を積極的にお話しいただき、お互いに学び合ひましょう！お帰りの際は秋田県の観光と、お土産もお楽しみください。

私たちがコロナ渦で得たオンライン会議等のノウハウはこれからも有効に活用されていくものと思いますが、やはり「集まる」ことは、私たちは決して一人ではなく、多くの「仲間」がいることを実感し、明日への活力を得られる貴重な一期一会の機会であります。

今回主管を務める横手支部では、コロナ渦で失われた前回大会運営の記憶とノウハウのピースをつなぎ合わせながらも、少人数支部でも運営が可能な工夫も織り込みました。

至らぬ点多々あるかと思いますが、ご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

5年ぶりに集う今日が有意義なものとなることを祈念しまして、第33回秋田県公立小中学校事務研究大会を開催いたします。



## 【開会式 会長あいさつ】

秋田県公立小中学校事務職員研究協議会  
会長 神尾 学

本日は、年末調整業務等お忙しい中、第33回秋田県公立小中学校事務研究大会に、当初予定しておりました170名を大きく超え、県内外から220名近くのご参加をいただき誠にありがとうございます。また、本研究大会を開催するにあたり、秋田県教育委員会様、秋田県小・中学校長会様をはじめとする教育機関・関係団体の皆様に大会の後援をいただいたとともに、本日の開会式へのご臨席を賜りましたこと、合わせて日頃からの当研究協議会へのご指導・ご支援に対して主催者として、心より感謝申し上げます。

令和2年1月16日に中国で最初の発症が報告されて以来、私たちの生活に3年あまりの間、影響をおよぼした新型コロナウイルス感染症は、今年の5月8日に感染法上第5類の指定へ変更となり、私たちの日常、そして学校生活も多くの制限が緩和されてまいりました。各校におかれましては、毎日の授業や行事等において以前のような活動を取り戻しつつも、引いては寄せ、寄せては返す波のように、近いところでは、夏休み明けに学校祭からの感染拡大による学年・学級閉鎖、休校など、まだまだその感染拡大対策にはこれからのインフルエンザとともに注意が必要なところ です。

また、今年は異常気象と言える猛暑の中、7月には豪雨により、秋田県内の多くの地域が甚大な被害を受けました。ご自宅、ご実家、学校などの建物、家具家電や書物、また自家用車など被害を受けた方々に心よりお見舞い申し上げます。さらには、その復旧も半ば、9月に再びの短時間豪雨により、同じ地域で浸水が起こるなどもありました。私たちは、この新型コロナが、この猛暑が、この大雨が、いったい何をもちたらし、どうなったのか、そして何を行ったのか、何をすればもっと良かったのか、しっかりと振り返り、いずれは消える記憶ではなく、記録を残し今後につなげていきたいものです。

さて、そのような私たちの学びを支える学校事務共同実施が、平成25年5月の秋田県教育委員会による「秋田県公立小中学校事務の共同実施に関する指針」策定から10年を数え、図らずもその区切りの年に県内共同実施が100%の実施率となりました。今年度は全県で58の共同実施グループが、それぞれにあった目的と方法で活動を行い、それぞれに成果を挙げており、また令和2年からの教育事務、教育行政区分による学校事務採用の皆さんが参加する毎年の初任者研修会でも共同実施のひとつの大きな目的である支援により助けられたという声も多く聞かれます。これからの共同実施も、ひとり配置の私たちが経験・キャリアにとらわれず、「問い」を発し、悩み・課題を同じ学校事務職員同士で共有し、進む方向を見いだしていくことで、ますます深まっていくことと思います。

今年度は研修体系の変更により、「秋田県教職キャリア指標」の学校事務職員にも従来の初任研、グループリーダー研修会に加え、3年目研修、新人事務長研修、さらには教育庁総務課による採用4年目と主任主査昇任2年目の方を対象とした合同研修会が行われるなど、「学び続ける秋田の事務職員」として研修の機会が与えられております。自らが学ぶ意欲を持ち、研修に参加することで、個々のスキルアップ・成長、さらには、つかさどる事務職員にもつなげていければ、共同実施はもとより各支部、そして秋田県の学校事務発展になると考えます。

本大会は最初に述べました新型コロナウイルス感染症の流行により、平成30年以来5年ぶりの開催となります。まさに久しぶりの開催であり、行き届かないところ多々あるかと思いますが、どうかご容赦願います。本来であれば、令和2年度には秋田県で東北大会も開催される予定でした。その際にご準備いただいた男鹿潟上南秋支部の皆様のご努力も引継ぎながら、今回は横手支部を中心に県南の皆様にご支援として力を注いでいただいたほか、分科会を担当する大館北秋田、秋田市、研究部の皆様にご難儀をおかけしました。

関係の皆様本当に感謝いたしますとともに、午前中の中村和雄様の講演から午後の分科会まで、本日の大会が参加した皆様にとって「良い大会であった」と感想をいただければ大変うれしい限りです。

最後に、このような大きな会場での大会に重く感じられる方もいらっしゃるかもしれませんが、ここにいる全員が学校事務の仲間です。どうか遠慮することなく、自分の声を出していただき、次も来たいと思える大会となることを祈念して、開会のご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。